

創り出そう みどりの多いまちなみ景観 ～我孫子で見つけた素敵なお庭～



花と緑のまちづくり

(表紙) 天神坂

我孫子市景観情報リーフレット 第5号

手賀沼公園前の交差点付近からハケの道に入ると、すぐ左手に道標があり、天神坂が現れます。天神坂は、市民の皆さんの応募により我孫子の魅力的な景観を選んだ「我孫子のいろいろ八景」の「坂道八景」に選ばれています。石段の坂道は、自然石の平らな石と丸石を巧みに配した、美しく歩きやすい坂道です。平成5年に現在の状態に整備されるまでは、泥んこの急坂でした。

坂道の途中、左側を見上げると、三樹荘の巨大な樹木が枝葉を大きく広げています。三樹荘の樹木は樹齢約250～300年のスダジイ3本、樹齢約100年のケヤキ3本からなり、地域のシンボルツリーとして市民の方々に長く親しまれています。そして、坂道の頂上には天神山緑地があります。この場所は、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎がかつて別荘にしていた所でした。現在は、手賀沼を見下ろせる緑地として整備されています。

天神坂は、ボランティア団体「三樹会」の方々が定期的に清掃活動をしているので、とても綺麗です。また、夕方になるとほんのりと灯りがともり、幽玄さと情緒を感じさせる空間に変貌します。

まちなみ探訪⑤ 千葉県千葉市緑区

おゆみ野の四季の道を訪ねて

今回は、日本ウォーキング協会が選定した「日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれている、千葉市緑区おゆみ野の四季の道を訪ねました。500選には、我孫子の「手賀沼と我孫子の歴史を訪ねるみち」も選ばれています。

おゆみ野は、30年ほど前に開発計画で創られたまちで、樹木が大きく茂った公園や緑道が、住宅地の中を周遊できるように設置されています。四季の道は、「春の道」、「夏の道」、「秋の道」、「冬の道」からなる幅広い緑道で、周囲には住宅地と公園を結ぶ歩道の路地が随所にあり、「公園住宅地」とも言うべき風景を生んでいます。子どもたちの格好の憩いの場であり、ウォーキングにも最適なエリアです。

緑道に面している戸建て住宅群は、エントランスと駐車場、前庭がうまく織り込まれた設計で、花と緑にあふれた美しいまちなみです。前庭を美しく維持し続けることは手間が掛かりますが、楽しみでもあります。近所同士のコミュニティの中から、花とみどりのデザインの工夫や知恵も生まれているのではないのでしょうか。

JR鎌取駅から四季の道は6kmほどあり、気持ちの良い散策路でした。



■ シンボルツリーとグリーンカーテン (青山台)

青山台のSさんのお宅は、住宅地の街角にあります。2003年にお家を建ててから、手作りで少しずつお庭を造り上げてきました。なんと外構のレンガ積みもご自身で作られたそうです。

ひときわ目を引くシンボルツリーはモクレン。2003年に植えてから、大きくなるまで7～8年かかりました。春には美しい紫色の花を咲かせます。花の時期が終わったら剪定をし、大きくなりすぎないように気を使っているそうです。お伺いしたのは夏の時期で、花は咲いていませんでしたが、ボリュームのある緑の葉が爽やかな印象でした。季節によって表情を変える魅力的なシンボルツリーです。そして株元には、球根のチューリップが彩り豊かに咲いています。

ご自宅の窓にはグリーンカーテンが造られています。グリーンカーテンは夏の暑い日差しを遮ると共に、見た目にも涼しげですね。1階部分はブドウの葉を這わせ、2階ベランダには鉢にゴーヤを植えています。ブドウとゴーヤの組み合わせで、緑の連続性をうまく作り上げています。

お庭を見た近所の方が声を掛けてくれることもあり、お庭づくりの励みになっているそうです。手づくりガーデンはご近所の「まちの花づくり」にもきっと影響を与えていることでしょう。



(手づくりのレンガ積み)



(色とりどりのチューリップ)



(春にはモクレンが花を咲かせる)



(グリーンカーテン)

■ イングリッシュガーデン (中峠)

中峠のIさんのお宅の庭園は、広い敷地内にあります。敷地は、Iさんが管理する洋風のイングリッシュガーデンと、Iさんの御両親が管理する和風庭園に分かれています。

和風庭園には、シンボルツリーのシノキがあります。こまめな手入れでコツコツとこじんまりとした樹形に仕立てられていて、艶陶しさを感じさせません。幹が太くても小さくまとめるのが手入れのコツと感じました。

Iさんは、庭園の植栽・管理のお仕事を8年間されていましたが、退職後、ご自身が理想とするお庭づくりをご自宅を始めました。多種多様な園芸品種の蒐集と、それに見合う庭園内の環境を見つけてこまめに手入れされています。そうして20年かけて造り上げたイングリッシュガーデンは、バラやクレマチス、グランドカバーのタイムの品種群などからなり、多様な品種が全体として美しく調和するように計算されて造られています。バラの咲く時期(5月中旬～6月上旬)には、友人・知人を招いて、観賞を楽しんで頂いています。庭園内には大変希少な品種もあり、積極的に挿し木で増やしてご友人に分けているそうです。そうすることで、もしご自身で育てていた希少種が枯れても、今度はそのご友人に分けてもらうことで、その品種を絶やさずにいられますね。

専門的な知識も豊富なIさんですが、「園芸力」が積み重なってさらに向上、それも楽しみのひとつです。



(トビアリーが印象的なイングリッシュガーデン)



(クレマチス)



(シノキ)

このリーフレットは、身近なまちなみから我孫子の景観の向上を図っていくことを目的に、市内における景観に関する取組みやトピックスの紹介とともに、景観アドバイザーの監修のもと、ご自宅のガーデンニングに取り入れていただける手法を紹介する内容となっています。

なお、バックナンバーは、我孫子市ホームページからダウンロード可能です。

発行 我孫子市都市計画課景観推進室
〒270-1192 我孫子市我孫子 1858
TEL 04-7185-1111 (内線 574)

発行日 平成30年1月

協力 関 基治(我孫子市景観アドバイザー)。
グリーンワークス主宰)



まちのちいさなシンボルツリー

■シンボルツリーを植えてみよう

戸建住宅街のみどりのまちなみの構成要素には、生垣、門や駐車場玄関周りの前庭、堀越しに見える庭の樹木、壁面緑化などがありますが、今回はシンボルツリーを取り上げました。といっても、大きな記念樹木ではありません。それぞれの住宅で、お庭にちょっとした目立つ樹木を植えることができれば、やがてその連続性のみどりのまちなみとして豊かになり、季節感がより多く感じられると思います。

理想を言えば、いろいろな樹木を植えることによつて「まちの小さな植物園」のような雰囲気になれば、まちを歩く人にとっても楽しいものとなるでしょう。

■シンボルツリーの選び方

ケヤキやサクラのように大きくなる樹木は、それなりに広い敷地が必要です。高木性の樹木の場合は、放置すると、どんどん大きくなり高さも巨大になります。管理に手間のかかるものは避け、手入れのしやすい樹種を選んで、剪定しながら育てましょう。

手入れのしやすい樹木とは、剪定しても萌芽力があり、切り痛みが少なく、樹形デザインを作り易いものです。

樹木を選ぶ際には、剪定や移植時期、耐陰性や陽光地向きなどを確かめることも必要です。マツの木やモッコクなどの、剪定や樹形づくりで造園の専門家を必要とする樹木は、年間の剪定費用も計画に入れて検討しましょう。



■我孫子市でよく育つ樹木は？

◎常緑広葉樹

常緑広葉樹は冬でも緑。主木や遮蔽をつくるのにふさわしいと思います。剪定時期は真冬を除けばいつでも可能です。植え込みも7、8月と冬の時期を避ければ移植できます。

冬／春 ヤブツバキ／サザンカ

多くの品種がある日本の代表的花木。気に入った品種を選んで3月以降に植栽しましょう。原種のヤブツバキはシンブルで美しいのですが、小さな花の侘助系、大きな花の肥後椿系など蒐集家も多い樹木です。こじんまりとした樹形にするには花の後の剪定で抑えてください。時にチャドクガが発生しますが、殺虫剤を使用しても毒針が残りますので、群生した若い幼虫の時に枝ごと切り取りビニール袋に入れて処分しましょう。

秋 キンモクセイ

お彼岸の頃、秋の香が街にただよう香りの木。刈込に強く、生垣から各種樹形に仕立てられる樹木です。自然風の樹形は「枝抜き剪定」と称して混みあった枝を主幹から抜き取るように剪定して風通しを良くしてあげましょう。

冬 ヒメユズリハ

お正月に使うユズリハの小型版。赤い葉柄とピカピカした葉が印象的な樹木です。混みあっている枝を透かせるように剪定します。葉が毎年入れ代わることから、代々家系が続くという意味の縁起木です。

冬 ソヨゴ

常緑樹の中ではさわやかさを感じる樹形で株立ちもあります。雌雄異株です。雌株には小さな美しい赤い実がなります。自然風の仕立て方がふさわしい樹木です。混み合った枝を枝抜き剪定して、軽やかな樹形を鑑賞しましょう。

春 モクレン類（コブシ、ハクモクレン、シデコブシ）

移植が比較的難しい樹木ですが、花が大型で目立ちます。最近コブシから品種改良した赤花や黄色い花の品種もあります。剪定後の萌芽力が弱いので細かい混んだ枝を少なめに剪定します。シデコブシは生長が遅いので、小さなシンボルツリーに向いています。

春 ジュンベリー

4月に小さな白い花が群がって咲き、6月には赤い玉の実がなります。しかも実は食べられますから色々楽しめる樹木です。秋には紅葉し、雑木林の風情のように細い枝の樹形を楽しみましょう。

春 ヤマボウシ／ハナミズキ

ヤマボウシは在来種。春に樹木全体に真っ白な花（実はガクですが）をつけ存在感があるシンボルツリー。株立樹形や赤花種もあります。秋には赤い実が楽しめます。ハナミズキはアメリカ原産。陽光を好み、横枝が張りますので、少し広めの日当たりの良い場所を選んでください。秋の紅葉も良いですね。

春 エゴノキ／コナラ／シデ類

雑木林の風景を感じさせる樹木類。新芽や株立ち樹形が美しく、生長も早いです。太くなった主幹は思い切って株元から切り、根元から新芽が出てくるのを育てながら楽しみましょう。エゴノキは6月に白い花が咲き美しく、半日陰の場所でも育ちます。

夏 ムクゲ

夏、大きな白いムクゲの花を見ると、さわやかさを感じます。ムクゲは萌芽力もあり生垣から仕立物まで出来る丈夫な木です。あまり高くなりすぎず、戸建てのシンボルツリーとしても格好の樹木です。最近、多くの品種が出回っています。花の色を確認して購入してください。

夏 サルスベリ

代表的な夏の花木。白い花は幹が真っ直ぐに立ち、赤色は樹形を曲がりくねった仕立て方にすれば印象的に見せることができます。花の期間が長く8月から9月まで咲き続けます。春の新芽に花芽が付きますので冬には樹形を整えた剪定を行います。

秋 モミジ類

モミジは種類や園芸品種が多い樹木です。小さな葉や新芽から深紅になる品種など様々です。葉のシルエツトが美しいですね。枝数を少なくして樹形重視の木に仕立てるようにしてください。剪定は1月までに、早めに行うようにします。切り口から痛みも出やすいので、融合剤を塗ることをお勧めします。



④ヤマボウシ ⑤ムクゲ ⑥サルスベリ

エコ生活を始めよう

第5回 挿し木は面白い

挿し木で植物を増やして、お庭を豊かにしてみませんか。樹木を増やしてプレゼントすれば、いずれどこかでみどりと花の量が増えていくはず。ご近所同士で挿し木を交換し合って、植物の量を増やしていけば、みどり豊かなまちなみになっていきます。

樹木の増殖には、実生や接ぎ木、株分けもありますが、挿し木が簡単です。樹種によって挿し木の難易度がありますが、経験を重ねていろいろな植物に挑戦してみましょう。

挿し木のポイントは？

- ① 樹種によって挿し木の適期を選ぶ
梅雨時が適期。落葉樹は2～3月も可能です。
- ② 空中湿度が大切
ビニール袋や新聞紙で覆うこともコツのひとつ。
- ③ 挿し木床の土壌は無菌の土壌を
赤玉土、鹿沼土、パーミキュライトなど。
- ④ 環境
日陰地で保管。徐々に明るい場所へ。
樹種によって違いがあります。図書館などでそれぞれの樹種解説本を読んだり、インターネットで調べてみましょう。



①ツバキ（春の台） ②キンモクセイ ③ヒメユズリハ

◎落葉広葉樹

落葉広葉樹は、冬には木立の美しさが強調されます。花が美しい樹木も多いです。シンボルツリーとしては株立ちの樹形も良いと思います。

春 ハナカイドウ

3月、サクラのような可愛い花を一面につける早春の花木。剪定をこまめに行うと風格ある樹形に作り込むことができます。高温と乾燥に弱いので、夏の灌水は十分に行いましょう。